

特集

持続可能な成長へ ～三菱商事グループの挑戦～

三菱商事は、持続可能な成長を実現する上で地球環境や社会が抱える課題への対応が重要であると考えています。今号の特集は、三菱商事グループの持続可能な成長に向けた考え方、および具体的な取組みについて紹介します。

持続可能な成長(サステナビリティ)の追求こそ企業活動そのもの

近年、「持続可能な開発目標(SDGs[※])」や「パリ協定」採択の動きに代表されるように、地球温暖化や社会が抱える課題の重要性が加速度的に増す中、企業は持続可能な成長を続けていくためには中長期的な視点を持ち、それらの課題への対応を踏まえた経営にあたる必要があります。

三菱商事は、『中期経営戦略2018』において、持続的に成長するために事業を通じて経済価値だけでなく、環境価値・社会価値を同時に実現していく姿勢を

改めて示し、これら三価値を同時に実現するための経営上の重要な課題として、「サステナビリティ重要課題」(右ページ参照)を特定しています。

事業を通じてこれらの重要課題に対処・挑戦することで、社会に役立つ事業価値を創出し、持続可能な成長を追求していきます。また、重要課題への取組みを通じて、三菱商事はSDGsで

掲げられた目標の達成に向けて期待される役割を積極的に果たしていきます。



※2015年9月に開催された国連サミットにおいて、地球規模の課題として採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核を成す17個の国際開発目標。

持続可能な調達・供給の実現

サプライチェーン上の環境面および強制労働や児童労働への対応といった社会性面のマネジメントが重要であると認識し、「サプライチェーンにおけるCSR行動ガイドライン」を策定し、視察も含めてその遵守状況を確認しています。



低炭素社会への移行

発電事業において、2030年時点で再生可能エネルギー比率20%(発電量ベース)を目指します。



地域課題への対応と解決策の提供

ヤンゴン近郊のティラワで、工業団地を開発し、現地の雇用創出、産業基盤の発展に貢献しています。



地域・コミュニティとの共生

サウジアラビアで技術教育・訓練を支援し、若年層の雇用拡大に寄与しています。



魅力ある職場の実現

経営能力の高い人材の育成に向けて、多様な人材が価値観を共有し、切磋琢磨しながら成長できる機会・職場の実現に取り組んでいます。



次世代ビジネスを通じた社会課題の解決

シリコンバレーに拠点を置き、環境、ヘルスケアなどの最先端ビジネス開発を推進しています。



自然環境の保全

マレーシア、ブラジル、ケニア、インドネシアで熱帯林再生実験プロジェクトを実施しています。



持続可能な養殖事業で持続可能な成長を目指すCermaq

三菱商事グループのひとつで、世界第3位のサーモン養殖加工会社Cermaq(セルマック)は、持続可能な養殖事業とさまざまなステークホルダーとの協業を通じて、安全な食の供給のみならず、海洋資源の保護、地域の雇用促進などに積極的に取り組んでいます。

2016年には、経営目標に

SDGsを取り込み、世界が抱える課題解決への貢献を目指して、新たな一歩を踏み出しました。セルマックは、SDGs実現に向けた取り組みが評価され、欧州のコン



サルティング企業から「SDG14: 海の豊かさを守ろう」の代表企業に選出され、その活動レポート“Future of Spaceship”は国連に提出されました。

※17の目標それぞれについて、世界各国の企業の中から代表企業が選ばれています。

セルマックでは、海の豊かさを守るために、以下の3つの視点で経営に取り組んでいます。

生物多様性の保全

生物多様性および天然資源の保護を目的に、養殖を行っている海域において、IUCN(国際自然保護連合)が作成した絶滅の危機にある野生生物のレッドリストを参照し、海洋生態系への影響を常にモニタリングし、その結果を、自社のウェブサイトを通じて、定期的に報告しています。



サプライチェーンの強化



サステナブルで安全・安心な養殖サーモンを安定的に供給するために、重要となるのが「飼料」です。セルマックでは海洋資源への影響を軽減するべく、穀物由来の原材料比率の高い飼料を使用しています。また、飼料サプライチェーンのリスクを管理するため、トレーサビリティを確保し、漁業規制を遵守して漁獲された海洋資源を原材料としている飼料供給業者から飼料を調達しています。

パートナーシップの促進

関係会社と協力し、サプライチェーンにおける違法行為の排除に努め、養殖業界の透明性の確保と持続可能な取組みを推進しています。最たる例として、2016年に設立された“Seafood Industry for Ocean Stewardship”に参画することで、世界を代表する複数の養殖サーモン事業会社と連携し、サステナブルでヘルシーな食料供給という共通の目標実現に向けた、情報・ノウハウの共有に力を入れています。



三菱商事は、『中期経営戦略2018』において掲げた三価値の同時実現に向け、セルマックなどの先進的な取組みを行っているグループ企業とも連携しながら、グループ丸となってサステナビリティ経営に取り組んでいきます。